

平成25年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年4月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,377億円余
2. 前年同月比	6.4% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭7.6%(89.2%) : 非店頭-1.9%(10.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	910,528㎡ (前年同月比:-0.6%)
6. 総従業員数	18,356人 (前年同月比:-1.6%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -0.3%、9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、 11-1月 0.7%、12-2月 0.3%、1-3月 3.2%

[参考] 平成24年3月の売上高増減率は26.7%

【3月売上の特徴】

- (1) 都内の入店客数は、増床・改装店舗を除くとほぼ前年並みであったが、高額消費や買い回り効果から客単価が上昇し、売上を大きく押し上げる結果となった。
- (2) 高級時計については多くの店で5割増を記録した。ハイエンドゾーンだけでなく数十万円クラスの入門編まで裾野広く動きが見られた。この他高額商材では、絵画についても洋画を中心として、100万円を超える中堅作品の引き合いが多かった。
- (3) 衣料品は極めて好調に推移し婦人(+11.1%)・紳士(+13.8%)共に二桁増だった。前月の需要が後倒しされたこともあり、ジャンルを問わず全アイテムで活況だった。
- (4) 婦人服の活況に連動する形で服飾雑貨(身のまわり品:+13.8%)も良く動いた。特に婦人靴は都内のほぼ全店で軒並み二桁増を記録した。
- (5) 4月中旬までの商況は、上旬の気温低下など天候不順があったものの、ほぼ前年並みで推移している。3月の流れを受けて高額商材に引き続き動きが見られる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 6店
- (3) 3月歳時記(ひな祭り、ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する: 1店、②変化なし: 15店、③減少する: 3店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年03月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	137,793,598	100.0	6.4 (5.5)
紳士服・洋品	11,147,659	8.1	13.8
婦人服・洋品	30,074,032	21.8	11.1 (9.9)
子供服・洋品	5,336,141	3.9	-0.8
その他衣料品	2,382,784	1.7	-2.7
衣 料 品	48,940,616	35.5	9.5 (8.8)
身のまわり品	19,123,600	13.9	13.8 (10.7)
化粧品	7,470,725	5.4	7.0
美術・宝飾・貴金属	8,102,256	5.9	20.0
その他雑貨	6,704,296	4.9	-1.5
雑 貨	22,277,277	16.2	8.5
家 具	2,202,777	1.6	4.5
家 電	812,541	0.6	-24.2
その他家庭用品	4,401,804	3.2	-10.1 (-11.4)
家 庭 用 品	7,417,122	5.4	-8.2 (-9.0)
生 鮮 食 品	4,674,829	3.4	-1.5
菓 子	10,698,208	7.8	2.9
惣 菜	6,610,912	4.8	1.0
その他食料品	8,667,872	6.3	0.6 (-0.9)
食 料 品	30,651,821	22.2	1.2 (0.7)
食 堂 喫 茶	3,408,190	2.5	3.0 (1.9)
サ ー ビ ス	2,323,538	1.7	0.9
そ の 他	3,651,434	2.6	6.4 (1.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	3,607,193 千円	-13.9 (-14.2)
従 業 員 数	18,356 人	-1.6
店 舗 面 積	910,528 m ²	-0.6

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月連続、食料品が3か月連続、衣料品が2か月連続、雑貨が2か月ぶりのプラス。家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が8か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子、その他食料品が3か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が2か月連続、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	6.4	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	13.8	1.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	11.1	2.3	2か月連続プラス
子供服・洋品	-0.8	0.0	4か月連続マイナス
その他衣料品	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	9.5	3.3	2か月連続プラス
身のまわり品	13.8	1.8	5か月連続プラス
化粧品	7.0	0.4	8か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	20.0	1.0	3か月連続プラス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	11か月連続マイナス*
雑貨	8.5	1.3	2か月ぶりプラス
家具	4.5	0.1	2か月連続プラス
家電	-24.2	-0.2	4か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-10.1	-0.4	11か月連続マイナス
家庭用品	-8.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	2.9	0.2	3か月連続プラス*
惣菜	1.0	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	0.6	0.0	3か月連続プラス*
食料品	1.2	0.3	3か月連続プラス
食堂喫茶	3.0	0.1	5か月連続プラス
サービス	0.9	0.0	4か月ぶりプラス
その他	6.4	0.2	2か月連続プラス
商品券	-13.9	-0.5	23か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>